

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 2026 年 6 月期第 1 四半期 決算説明文字起こし ||

株式会社タウンス

197A 東証スタンダード市場

企業情報はこちら>>>

2025 年 11 月 21 日 (金)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 目次

■ 2026 年 6 月期第 1 四半期決算を受けてのアナリストコメント	-----	02
■ 決算説明	-----	03

■ 2026年6月期第 1 四半期決算を受けての アナリストコメント

・ 2026年6月期第 1 四半期は売上高で前期比63.1%減の2,368百万円、営業利益で同85.4%減の547百万円と大幅減収減益となった。同社は高い製品競争力、再現性のある開発を可能にする強固な開発体制、効率的な販売体制に強みを持つ。特に、販売においては塩野義製薬との協働（コ・プロ）で感染症対策において「予防→検査→治療」まで一気通貫のソリューションを提供し、ロシュとの販売提携（コ・マーケ）も稼働しており、主要呼吸器感染症の医療機関向け国内抗原検査キット市場におけるシェアでは、インフルエンザ、アデノウィルス、新型コロナで引き続きシェア1位、新型コロナ/インフルエンザコンボでもシェア3位を獲得している。ただ、第 1 四半期は新型コロナ、インフルエンザともに流行規模が大幅に縮小している。

・ 2026年6月期予想は売上高で前期比11.5%増の20,769百万円、営業利益で同0.7%増の8,323百万円。市中在庫の消化局面が解消し、インフルエンザは例年より早い9月下旬から流行期入りし、これに伴って足元の抗原検査キットの需要は増加しているため、予想が据え置かれている。なお、インフルエンザは東京都の定点観測値は11月13日報道で29を超えており、一般的に流行入りの目安とされる 1、注意報入りの10を超え、警報入りの30に迫っている。また、日本においては通説として隔年で流行すると言われるB型（昨シーズンは流行らず、その前年は流行）についても、今夏は南半球で一定の流行を見せており、日本においてもB型感染者が一定程度確認されつつあることから、年内はA型、年明けからB型が流行して長期間のインフルエンザ流行となる可能性が相応にあり、そうならば、一昨シーズンと同じパターンとなる。また、改良品の今期中の投入を抑えるコンボのシェアが21%から19%へ2ptほど落ちたことはある程度想定内。改良品が今期中に投入されるというスケジュールも現時点では不変であるが、改良品については感染症の冬のピークを過ぎてからの投入予定となるため、今期業績への貢献は計画上ほとんど織り込んでいなかったことに留意したい。コロナについても定点 1（全国平均）を下回らずに持続的な流行を見せており、インフルエンザの流行と長く重複すればコンボの出荷数が伸びていくシナリオとなる。

・ 2030年6月期を最終年度とする中計は、売上高がCAGR+10.0%の30,700百万円、営業利益が同+9.5%増の12,980百万円、ROE25%以上、28円を起点とする累進配当を導入が目標となる。累進が掲げられた配当は、年間の額こそ変わらないものの、第2四半期末6円、期末22円から、第2四半期末14円、期末14円に変更された。

・ 栄研化学<4549>のPERは19.7倍、配当利回り2.58%、ROE5.0%に対して、タウンズのそれは5.8倍、5.67%、40.7%であり、株価で2～3倍でも釣り合う。中計最終年度でのPERは3.7倍となり、市場平均15倍まで買われると株価は4倍となる。今回のように業績が大きく振れるのは懸念材料であり、それを許容しない投資家が売ったのだろうが、その分だけ配当が高く、株価の反応は過剰に見える。現状、累進配当が謳われている配当利回りは6%近い。

■ 決算説明



01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第1四半期 決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.20
04. 最近のトピックス	P.26
05. Appendix.	P.28

株式会社タウンズ | 2025 年 11 月 21 日 (金)
197A 東証スタンダード市場 | <https://www.tauns.co.jp/investors/>

会社概要

社名	株式会社タウンズ [英語名: TAUNS Laboratories, Inc.]		
代表者	代表取締役社長 野中 雅貴		
創業年月 設立年月*	1987年4月 2016年4月 (*グループの再編に伴う現法人の設立年月)		
本社所在地	静岡県伊豆の国市神島761番1		
資本金 (2025年9月30日時点)	296百万円		
役員構成 (2025年9月30日時点)	代表取締役社長 野中 雅貴 取締役 内山 義雄 取締役 永井 淳平 取締役 伊藤 政宏	社外取締役 社外取締役 監査役 社外監査役 社外監査役	三品 聡範 千葉 理 遠藤 佳孝 中川 真紀子 Caroline F. Benton
株主構成 (2025年6月30日時点)	CITIC CAPITAL JAPAN PARTNERS III, L.P. 40.50% 野中 雅貴 26.73%		
事業内容	体外診断用医薬品、研究用試薬等の開発、製造及び販売・輸出入 主要製品は感染症の抗原検査キット		
売上規模	18,627百万円 (2025年6月期)		
従業員数	376名 (2025年9月30日時点)		
総資産	39,084百万円 (2025年9月30日時点)		
拠点	本社・神島工場、清水町事業所・R&Dセンター、東京オフィス		
主な取引先	スズケン、ロシュ・ダイアグノスティクス他		



本社・神島工場



清水町事業所・R&Dセンター



三島工場 (2025年12月体制構築完了 (業許可、バリデーション等)、2026年2月本格稼働予定)

©TAUNS Laboratories, Inc.

3

経営理念

私たちタウンズは、独自の体外診断用医薬品により、人々の生活に安心と潤いを届けます。
そのために、技術・知識を集積し、新たな製品の開発、品質改善に取り組み続けます。

診断技術で、安心な毎日を。

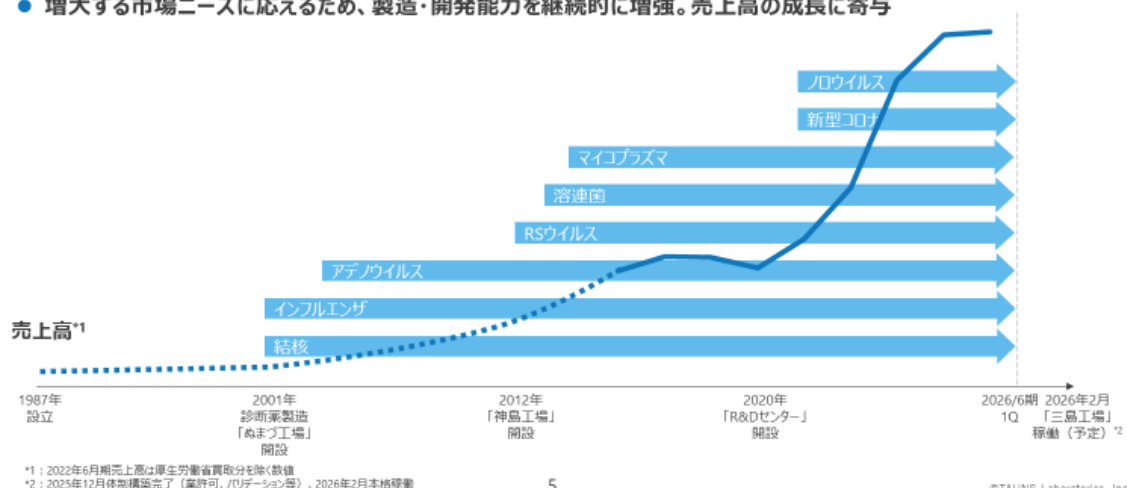
何気なく過ぎていくあたりまえの毎日も。
いつもとは違う特別なひとときも。
支えているのは、揺るぎない安心。
私たちタウンズは、独自の診断技術を追求し、
疾病の診断、早期発見のお手伝いをしています。
ひとりひとりの不安を取りのぞくことで、
世界中で未来への見通しをよくすることで、
安心な毎日を支え続けます。

4

©TAUNS Laboratories, Inc.

沿革

- 2000年代初頭から、豊富な抗原検査のラインナップを順次展開
- 増大する市場ニーズに応えるため、製造・開発能力を継続的に増強。売上高の成長に寄与



事業内容

- 主に、感染症臨床検査用の抗原検査キットを開発・製造。インフルエンザを始め、アデノウイルスや新型コロナなど多くの感染症項目において「イムノエース」ブランドの製品を展開

主な製品群

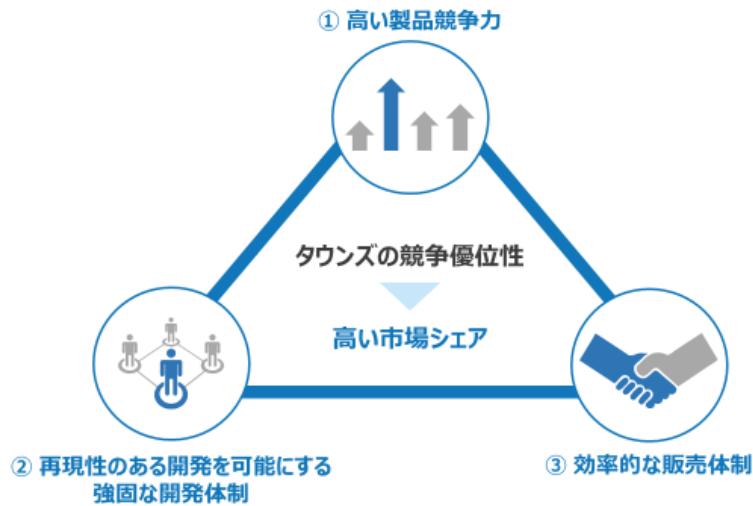
感染症領域



6

©TAUNS Laboratories, Inc.

タウンスの3つの競争優位性

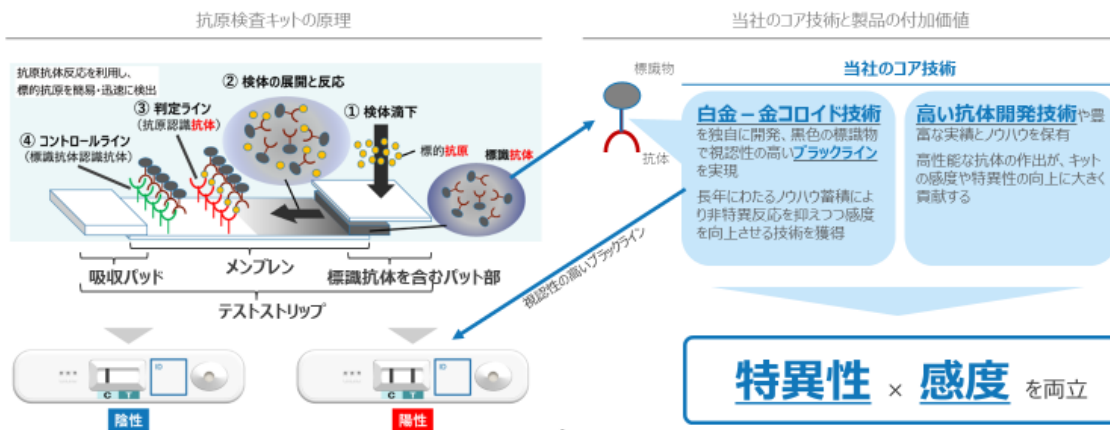


7

©TAUNS Laboratories, Inc.

抗原検査キットの原理・当社技術の強み

- 数多くの自社抗体の開発実績（特許化含む）や、独自技術である白金－金コロイドなど高い技術力を有する
- 技術力を活かし、特異性と感度を両立した高品質な製品を開発。さらには複数感染症間の幅広い検体共用の実現など、医療現場と患者双方にとって価値の高い製品を供給している



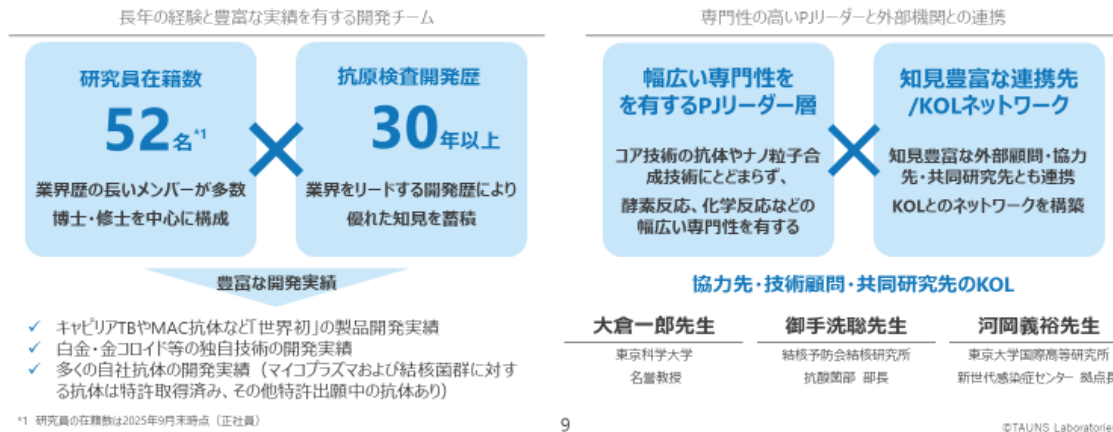
8

©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンス | 2025 年 11 月 21 日 (金)
197A 東証スタンダード市場 | <https://www.tauns.co.jp/investors/>

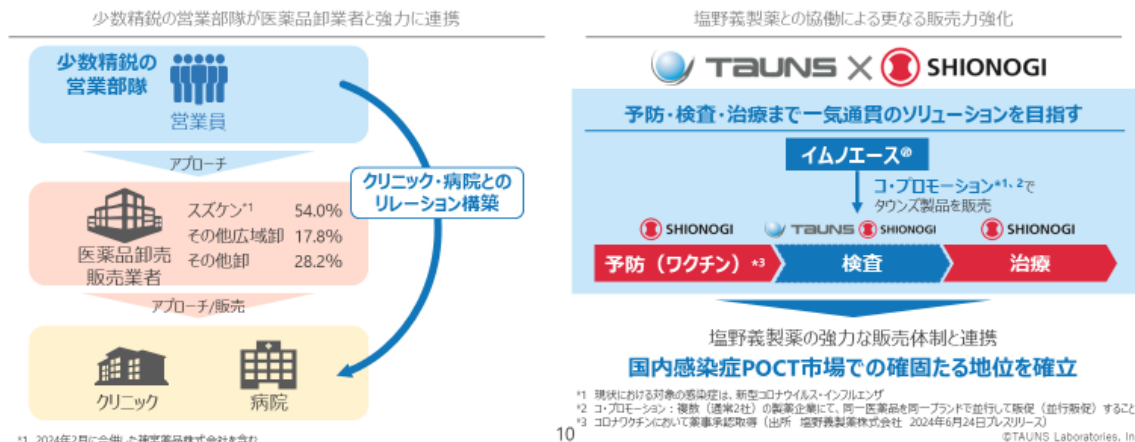
再現性のある開発を可能にする強固な開発体制

- 豊富な業務経験と高度かつ多様な専門性を有する開発チームが、開発活動を牽引
- 長年の研究開発を通して社内に蓄積されたノウハウに加え、社外からも知見を得ることで迅速かつ革新的な開発を実現



商流と営業体制

- 少数精鋭の営業員が、卸業者と強固な協力関係を構築。主要な感染症抗原検査キットで国内トップクラスのシェアを獲得
- 塩野義製薬との協働（コ・プロ）により、感染症対策において「予防→検査→治療」まで一気通貫のソリューションを提供。クリニックに強い塩野義の販売力と、病院に強い当社営業員のシナジーにより、国内感染症POCT市場での地位を更に強固にする
- 加えて、ロシュとの販売提携（コ・マーケ）により、コンボ検査キットを中心にさらなるシェアアップを図っている



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document



01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第1四半期 決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.20
04. 最近のトピックス	P.26
05. Appendix.	P.28

2026年6月期第1四半期 ハイライト



- ✓ 新型コロナについては、当第1四半期において第13波が到来したものの、同第11波のあった前年同期に比べその流行規模は定点ベースで約34%縮小した。これに伴い抗原検査キットの需要も前年同期に比べ縮小した
- ✓ インフルエンザについては、当第1四半期において前年同期を若干上回る流行があったものの、流行規模は定点ベースで新型コロナの10分1以下であり、業績への寄与は限定的であった
- ✓ 感染症の流行規模縮小に加えて、前期の流行期に卸売業者が確保した抗原検査キットの市中在庫の消化局面が、前期第4四半期から当第1四半期末頃まで継続したことも、当第1四半期の売上高を押し下げる要因となった
- ✓ 主要製品の市場シェアは概ね堅調に推移したものの、流行規模縮小と市中在庫消化の影響により、新型コロナ/インフルエンザのコンボ検査キットの売上は前年同期比81.4%減、新型コロナ単品検査キットの売上は同62.6%減、インフルエンザ検査キットの売上は同55.3%減となった
- ✓ この結果、当第1四半期の売上高は2,368百万円（前年同期比63.1%減）、営業利益は547百万円（同85.4%減）、経常利益は505百万円（同86.5%減）、四半期純利益は357百万円（同86.7%減）となった
- ✓ 市中在庫の消化局面が解消し、また、9月下旬からインフルエンザが流行期入りしたことなどから、足元の抗原検査キット需要は拡大している

株式会社タウンズ | 2025 年 11 月 21 日（金）
197A 東証スタンダード市場 | <https://www.tauns.co.jp/investors/>

2026年6月期第1四半期の業績

- 新型コロナの流行規模が前年同期を下回ったこと、並びに、市中在庫の消化局面が当第1四半期末頃まで継続したことから、当第1四半期の売上高は前年同期比63.1%減の2,368百万円となった
- 売上高の大幅な減少により、売上総利益は前年同期比66.1%減、営業利益は同85.4%減、経常利益は同86.5%減、四半期利益は同86.7%減となった。各段階損益率も前年同期を下回った

(百万円)	2024/6期1Q		2025/6期1Q		26年6月期1Q		
	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	前期比
売上高	6,943	-	6,419	-	2,368	-	-63.1%
売上総利益	4,802	69.2%	4,810	74.9%	1,630	68.8%	-66.1%
営業利益	3,746	53.9%	3,745	58.3%	547	23.1%	-85.4%
経常利益	3,741	53.9%	3,753	58.5%	505	21.3%	-86.5%
当期利益	2,685	38.7%	2,696	42.0%	357	15.1%	-86.7%
EBITDA	3,914	56.4%	3,917	61.0%	729	30.8%	-81.4%

13

©TAUNS Laboratories, Inc.

主要製品別の売上高（2026年6月期第1四半期）

- 新型コロナの流行規模が前年同期を下回ったこと、並びに、市中在庫の消化局面が当第1四半期末頃まで継続したことから、主要製品の売上高は前年同期比で減少となった

(百万円)	2024/6期1Q		2025/6期1Q		26年6月期1Q		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
新型コロナ単品検査キット	2,374	34.2%	3,284	51.2%	1,229	51.9%	-62.6%
新型コロナ/インフルエンザ コンボ検査キット	2,479	35.7%	2,013	31.4%	374	15.8%	-81.4%
インフルエンザ検査キット	1,286	18.5%	400	6.2%	179	7.6%	-55.2%
その他（アデノ・溶連菌、RSなど）	803	11.6%	720	11.2%	584	24.7%	-18.9%
合計	6,943		6,419		2,368		-63.1%

14

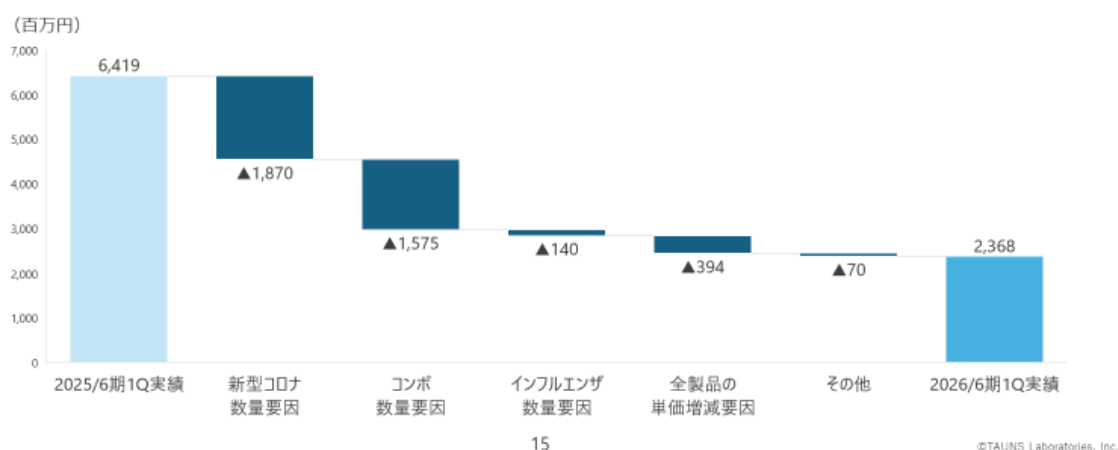
©TAUNS Laboratories, Inc.

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document

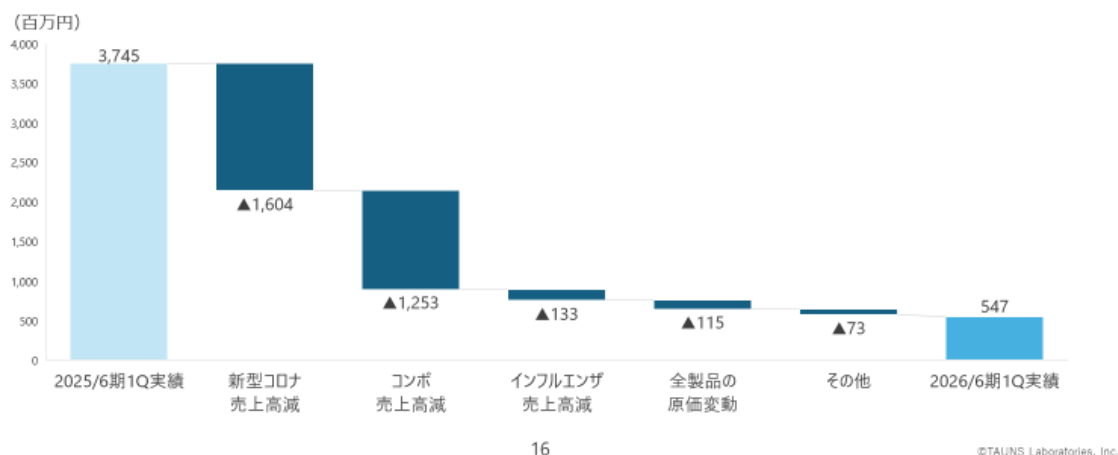
前期比売上高の増減要因

- 前述のとおり、新型コロナ単品検査キット、並びに、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上数量が大幅に減少したことが、売上高の減少につながった
- 販売単価の下落率は、期初想定範囲内に収まっている



前期比営業利益の増減要因

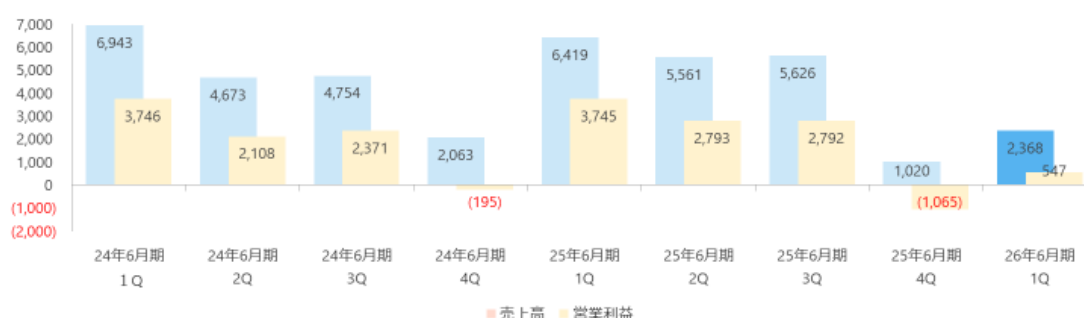
- 前述のとおり、新型コロナ単品検査キット、並びに、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上高が大幅に減少したことが、営業利益の減少につながった



四半期毎売上高・営業利益推移

- 新型コロナの流行規模が前年同期を下回ったこと、並びに、市中在庫の消化局面が続いたことから、第1四半期の売上高は2,368百万円（前年同期比 63.1%減）、営業利益は547百万円（前年同期比 85.4%減）と大幅な減収減益となった
- 前期第4四半期から続いた市中在庫の消化局面は、当四半期末頃に解消。9月下旬からインフルエンザが流行期入りしたこともあり、足元の抗原検査キット需要は拡大している

(百万円)



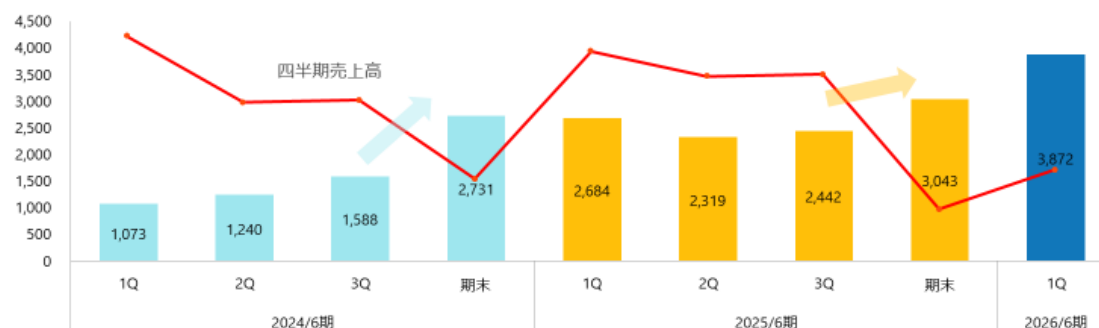
17

©TAUNS Laboratories, Inc.

在庫水準の推移

- 当四半期の抗原検査キット需要の低迷を受け、在庫水準は増加傾向にある
- 足元の抗原検査キットの需要拡大に向けて、必要十分な在庫水準を確保している

(百万円)



18

©TAUNS Laboratories, Inc.

貸借対照表

(百万円)	2025/6期1Q	2025/6月期	2026/6月期1Q	(百万円)	2025/6期1Q	2025年6月期	2026/6月期1Q
流動資産	16,915	15,476	14,863	流動負債	10,474	9,529	9,487
現金及び預金	9,424	9,266	4,609	買掛金	1,482	1,199	1,298
売掛金	2,706	247	2,315	短期借入金	4,500	4,500	4,500
商品及び製品	2,731	3,043	3,872	1年内返済予定の長期借入金	732	1,114	1,695
仕掛品	846	1,515	1,638	未払法人税等	1,706	842	161
原材料及び貯蔵品	1,140	1,324	1,300	未払消費税等	387	101	256
その他	66	78	1,126	その他の流動負債	1,210	1,597	1,577
固定資産	12,345	21,038	24,220	固定負債	5,120	9,567	14,077
有形固定資産	7,905	12,279	15,464	長期借入金	4,307	8,809	13,313
無形固定資産	3,720	3,836	3,841	繰延税金負債	619	556	556
投資その他の資産	719	4,922	4,914	その他の固定負債	193	202	207
資産合計	29,261	36,515	39,084	負債合計	15,594	19,097	23,565
				純資産合計	13,666	17,417	15,518
				負債純資産合計	29,261	36,515	39,084

*1 投資その他の資産の増加は、投資有価証券の増減によるもの

19

©TAUNS Laboratories, Inc.

INDEX

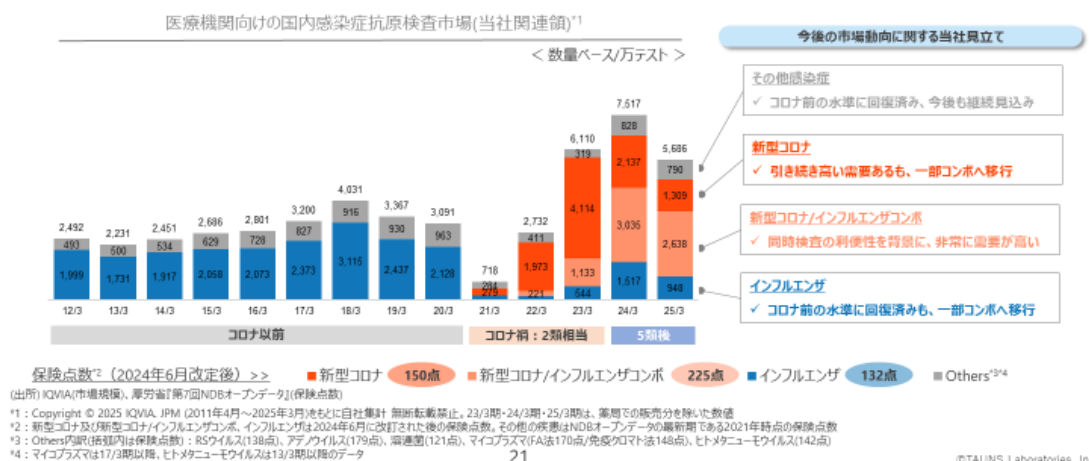
01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第1四半期 決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.20
04. 最近のトピックス	P.26
05. Appendix.	P.28

20

©TAUNS Laboratories, Inc.

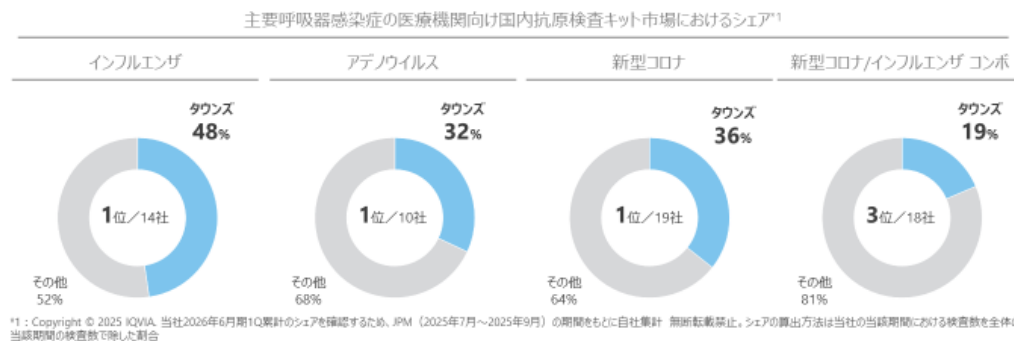
コロナ禍を経て拡大した、医療機関向け国内抗原検査市場

- 医療機関向けの国内抗原検査市場規模は、コロナ禍以前はインフルエンザを中心に年間30百万テスト前後で推移
- コロナ禍を経て新型コロナ単品・コンビの検査が定着したことで、市場規模は24/3には年75百万テストと大幅拡大した。25/3においては流行規模が下振れし、またコンビ検査へのシフトが進んだことから、単品検査の市場規模は縮小した



市場シェアと拡大余地

- インフルエンザ、アデノウイルス及び新型コロナの各検査キットは、トップシェアを堅持
- 新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットは、競合他社のシェア伸長により、市場シェアは前期の2位から3位へ後退。要因として、コンボ検査キットの改良品の上市が想定より遅れている点があげられる。今後に向けては、改良品の上市やロシュとの提携効果により、市場シェア向上を図る



業績予想



- 2026年6月期通期業績予想については、当第1四半期の売上高は前年同期を下回ったものの、市中在庫の消化局面が解消し、またインフルエンザは例年より早い9月下旬から流行期入りし、これに伴って足元の抗原検査キットの需要は増加していること等から、2025年8月13日に公表した業績予想を据え置き
- 特別利益として新工場に係る補助金収入を見込む

(百万円)	25年6月期 予想 ①	25年6月期 実績 ②	26年6月期 予想 ③	増減 ②/③	利益率
売上高	19,273	18,627	20,769	111.5%	-
営業利益	8,308	8,265	8,323	100.7%	40.1%
経常利益	8,316	8,219	8,143	99.1%	39.2%
当期利益	6,019	6,315	8,613	136.4%	41.5%

23

©TAUNS Laboratories, Inc.

業績予想の進捗



- 当第1四半期は、新型コロナの流行規模が前年同期を下回ったこと、並びに、市中在庫の消化局面が当第1四半期末頃まで続いたことから、通期予想に対する売上高の進捗率は11.4%に留まっている
- 市中在庫の消化局面は解消し、また、インフルエンザは例年より早い9月下旬から流行期入りしており、これに伴って足元の抗原検査キットの需要は増加している。第2四半期以降については堅調な業績進捗を見込んでいる

(百万円)	2025/6期			2026/6期		
	通期実績	1Q実績	進捗率	通期予想	1Q実績	進捗率
売上高	19,273	6,419	33.3%	20,769	2,368	11.4%
営業利益	8,308	3,745	45.1%	8,323	547	6.6%
経常利益	8,316	3,753	45.1%	8,143	505	6.2%
当期利益	6,019	2,696	44.8%	8,613	357	4.1%

24

©TAUNS Laboratories, Inc.

株主還元

- 2026年6月期の中間配当および期末配当予想について、下記の表のとおり修正
- 当社は2026年6月期以降において28円を起点とした累進配当を導入しており、これに伴い、中間配当と期末配当の金額の配分について、従来の方針を変更している

(円)	中間配当	期末配当	年間配当	備考
2024/6期	6.00	21.75 ^{*1}	27.75 ^{*1}	東証スタンダード市場への上場を記念して、1株当たり11円10銭の特別配当を実施
2025/6期	6.00	22.00 ^{*2}	28.00 ^{*2}	当社設立10期目を迎えるため、期末に1株10円00銭の周年記念特別配当を実施予定
2026/6期 (2025年8月13日 発表予想)	6.00	22.00	28.00	26年6月期から開始する中期経営計画期間において28円を起点とする累進配当を導入
2026/6期 (2025年11月14日 修正予想)	14.00	14.00	28.00	修正予想。年間配当は不変

^{*1}: うち、上場記念配当11.10円
^{*2}: うち、法人設立10周年記念配当10.00円を予定

25

©TAUNS Laboratories, Inc.

INDEX

01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第1四半期 決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.20
04. 最近のトピックス	P.26
05. Appendix.	P.28

26

©TAUNS Laboratories, Inc.

直近の投資案件 ElectraDx 会社・案件概要



会社概要

名称	ElectraDx, Inc
創業者、会長	Ron Zwanziger
CEO	Veronique Ameye
事業内容	POCTおよびOTC製品の研究開発・販売
技術・製品の強み・特徴	- 判定時間短縮と高精度化の両立 - 免疫測定法、タンパク質および核酸検出を含む様々な技術を融合 - 少量のサンプルで多項目同時検査が可能 - 定量測定に対応、全血検体を前処理なしで検査可能等の高い汎用性 - 極めて安価な小型検査デバイス、テストストリップ
設立年月日	2023年11月
従業員数	35名 (2025年10月時点)
所在地	サンディエゴ (米国)、グラスゴー (英国)

案件概要

- 出資内容：B種優先株の引受
- 出資額：非開示
- 持株比率：非開示

提携の狙い

目的：ElectraDxの技術を活用した革新的なPOCTの導入により、当社の呼吸器感染症POCT市場でのプレゼンスを更に高め、かつ性感染症や慢性疾患等の新領域に向けた新たなPOCTを投入すること

ElectraDxへの期待：革新的なPOCT技術の提供と共同開発

タウンズの役割：検査キットの共同開発及び日本での独占的な販売権

短期での取り組み：

- ✓ ElectraDxの先行開発製品のローンチ
- ✓ 呼吸器感染症POCTのローンチ

中・長期での取り組み：

- ✓ 性感染症や慢性疾患領域のPOCTのローンチ

27

©TAUNS Laboratories, Inc.

免責事項



- 本資料は、金商法や東証ルール等に規制される開示資料ではありません。投資家への情報提供を目的としており、一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的としたものではありません。また、本資料は、投資家の皆様に対して当社の業績等に関する情報を提供することを目的として開示されており、医療関係者や患者様等の投資家以外の方による前記の目的以外での利用を禁止します。
- 本資料は、表紙に記載の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社として本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。
- 本資料に記載されているデータ・記載・情報等は、公知の情報を除き、一切の無断転載を禁止します。
- 本資料に記載した将来予想に関する記述は、現時点の見通しであり、将来の業績やその実現について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当該将来情報は、様々な要因により、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない概算数値を含むことを予めご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様が自己のご判断と責任においてご利用されることを前提として作成・開示しており、いかなる目的で利用される場合においても、その結果生じたいかなる損害に対しても、当社は一切の責任を負いかねます。

36

©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2025 年 11 月 21 日（金）
197A 東証スタンダード市場 | <https://www.tauns.co.jp/investors/>

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp